

I 提案のコンセプト

1 資産名称・概要

1) 名称

金と銀の島、佐渡 ー 鉱山とその文化 ー

2) 概要

佐渡島には、中世以来の金銀山が全島に数多く分布し、産出量のみならず、技術面においても、我が国の貴金属鉱山を代表する存在であり続けた。16世紀に大陸からもたらされた「灰吹法」の技術は、まず石見銀山に根付き、17世紀の佐渡において採鉱から精錬に至る一連の工程に組み込まれることにより、当時としては最も進んだ効率的な金銀生産システムを確立させた。さらに、この技術及びシステムは国内各地の鉱山へと伝播し、佐渡は日本の鉱山開発を発展させる拠点として重要な役割を果たした。また、明治時代には国策により欧米の最新技術が導入されたが、佐渡では既に確立していた生産システムを基盤に日本で最も早い鉱業の近代化が急速に進められ、それらは国内をはじめ東アジアの鉱山開発にも大きく寄与した。

このような歴史の痕跡は、現在も佐渡島内に遺跡や記念工作物などとして良好に遺存し、400年以上にわたって継承された鉱山の技術と経営の変遷を明瞭に示すとともに、離島という特殊な環境から鉱山に関連して形成された独特の土地利用形態を表す景観や伝統的な文化が継承されている。佐渡の金銀山遺跡とその関連資産は、貴金属の採掘技術と鉱山経営の歴史のみならず、その構造のすべてを典型的に示す事例として世界的にも希有な存在であり、顕著な普遍的価値を持っている。

佐渡には、金銀鉱山が広く分布している。西三川砂金山遺跡、鶴子銀山遺跡、新穂銀山遺跡、相川金銀山遺跡の4つの鉱山遺跡を中心に、鉱山技術の初期の時代から最も近代化された時代まで、そのすべての歴史と関連文化を今なお見ることのできる希有な島が佐渡である。

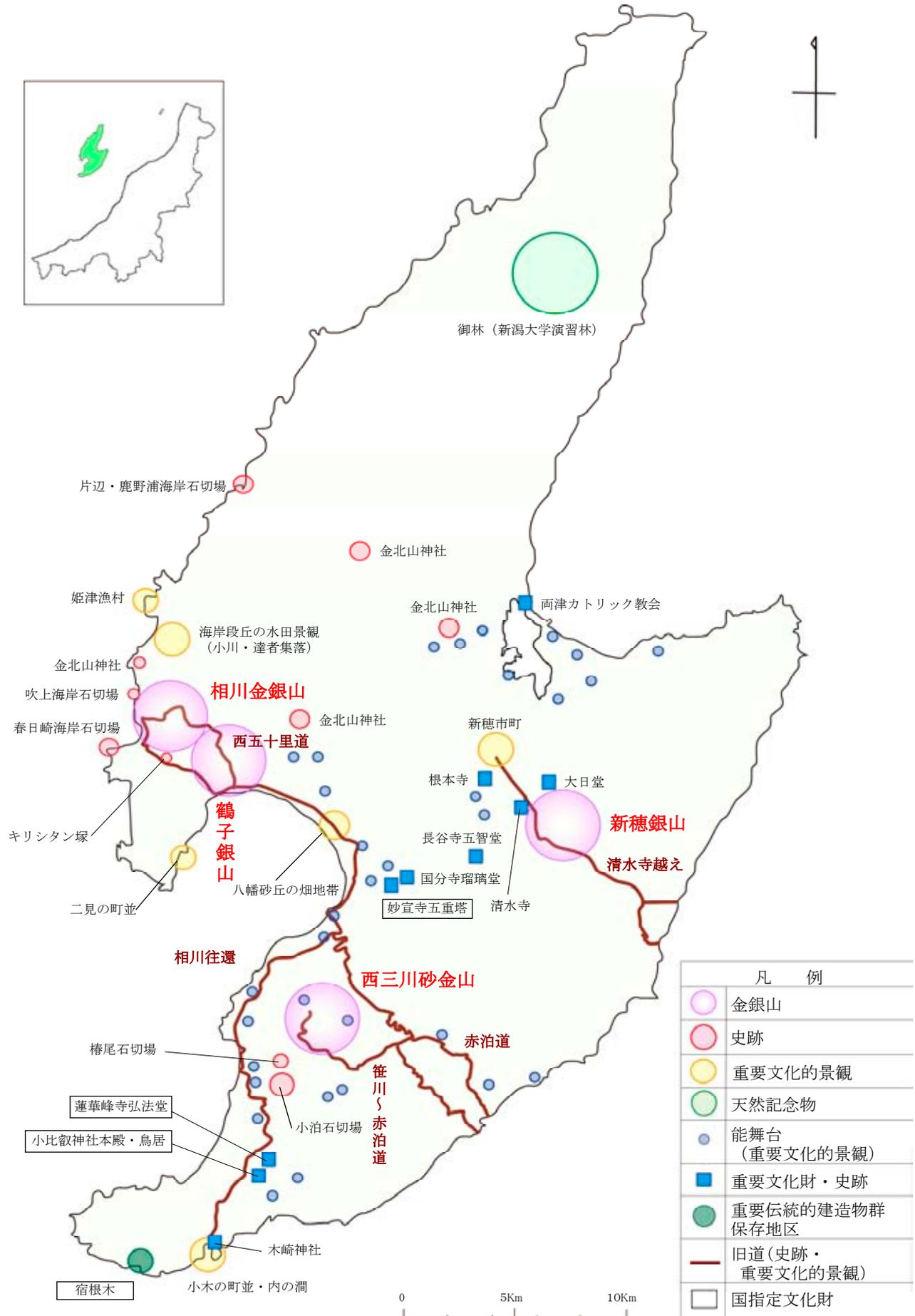
佐渡が「金の島」として歴史に登場するのは11世紀末の『今昔物語集』に始まる。古くは西三川で砂金採取が行われていたが、鶴子銀山や新穂銀山の露頭掘りの時期を経て、相川金銀山の発見で最盛期を迎える。佐渡の豊富な金銀は豊臣秀吉や上杉景勝の軍資金となったが、その後、徳川幕府によって天領となった佐渡の存在は、金銀山から生み出される圧倒的な経済力のゆえに、わが国が東アジアにおいて二百余年にわたって平和裏に鎖国体制を維持できた要因の一つとなった。

相川金銀山には石見銀山などを經由して大陸から伝来した「坑道掘り」「灰吹法」などの最先端の技術が導入され、江戸時代初期には世界の産金量の実に5%にあたる年間400kgという、世界有数の産出量を誇った。それは佐渡で開発された作業の分業化と系統化による金銀生産システムが確立したことによる。これらはさらに、18世紀半ばには奉行所に併設された「寄勝場」によって完成し、近代にも通じるシステムとなった。

明治時代には、欧米の技術導入により政府の数少ない模範鉱山としての官営化が行われたが、急速な近代化の成功は近世に確立されていた生産システムによるところが大きい。こうしたシステムは近世から近代にかけて国内及び東アジアの各鉱山に大きな影響を与え、佐渡は鉱山国日本を代表する鉱山であり続けた。

鉱山の開発が進むにつれ、各地から山師や金掘り大工などが集まり、17世紀前半の最盛期には相川の人口は5万人に達したとされる。相川では計画的な町づくりが行われ、当時としては世界的に類例をみない大規模な臨海鉱山都市としての景観を形成した。奉行や金銀山開発によって富を得た山師たちが、鉱山の繁栄を願って競って寄進した根本寺・長谷寺・蓮華峰寺などの伽藍や石造物が島内各地に分布し、鉱山経営と関連する寺社には、「やわらぎ」などの金銀山の繁栄を願う神事芸能が伝承されている。さらに鉱山と関連した生業に関する土地利用の実態が海岸段丘の新田開発や石切場、鉱山集落などの見事な景観として残されている。無名異焼・裂織・蠟型鑄金など鉱山と関連する技術も数多く伝承されており、このように金銀山は島内の広範な文化面にも影響を及ぼしてきた。

2 資産位置図及び資産全体の包括図



金と銀の島、佐渡 一鉱山とその文化一



相川金銀山（道遊の割戸）

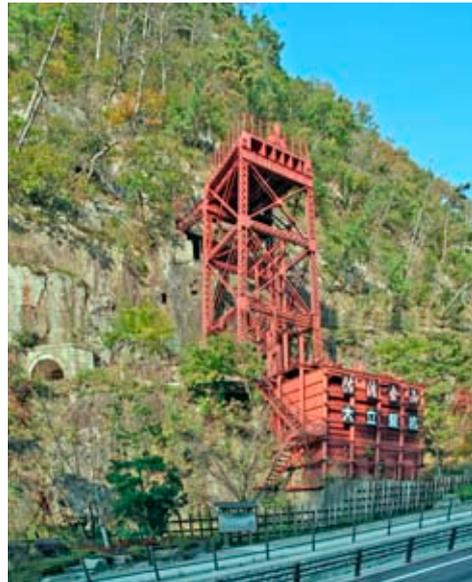


鶴子銀山（大滝間歩）

相川金銀山（上相川遺跡）



相川金銀山（京町の町並）



相川金銀山（大立竪坑）



根本寺

吹上海岸石切場



相川金銀山（浮遊選鉱場）

4 構成資産表(金と銀の島、佐渡－鉱山とその文化－)

A) 構成資産

地区		(a) 西三川砂金山	(b) 鶴子銀山	(c) 新穂銀山		
保護の種別	歴史的展開	史跡 重要文化財	史跡	重要文化的 景観	史跡 重要文化財	重要文化的 景観
古代・中世	砂金山時代	社寺・信仰 2法名院塚・荒神山 3医王寺 古道 4赤泊から笹川へ至る旧道	1西三川砂金山			
	戦国期	鉱山関連遺跡 5砂金山群 6水路跡 7堤跡 8石組遺構群 9金山役宅跡 10笹川城跡・西三川城跡	鉱山関連遺跡 2間歩・露頭掘り群 3鶴子代官屋敷跡 4鶴子田中遺跡 5鶴子荒町遺跡 6鶴子床屋跡 7沢根城跡・沢根元城跡	1鶴子銀山	鉱山関連遺跡 1新穂銀山跡 2滝沢集落跡 3北方山城跡 古道 4清水寺越え	
近世	金銀山時代	社寺・信仰 11阿弥陀堂 12大山祇神社 建造物 13金子勘三郎家	古道 8鶴子道 9古岩小滝参拝道 社寺・信仰 10古岩・天狗岩・小滝 11長安寺・専得寺・吉祥寺跡 12西野金北山神社 13山師秋田権右衛門家の墓 14沢根籠町善宝寺	都市 15沢根の町並	建造物 5大日堂 6清水寺	都市・集落 7新穂市町
	近代	近代鉱山時代				

B) 関連する資産

地区	西三川砂金山	鶴子銀山	新穂銀山
民俗芸能(f) 民俗技術(g)		民俗芸能(f) 1金北山神社例祭神事 2沢根白山神社の祭礼	
記録など(h)	1西三川砂金山絵図・絵巻 2金子勘三郎家文書 3笹川砂金山砂金採取用具	4鶴子銀山絵図	5新穂銀山絵図

A) 構成資産

斜体・赤字:既国指定文化財

地区		(d) 相川金銀山		(e) その他島内に分布する資産	
保護の種別		史跡 重要文化財	重要文化的景観 重要伝統的 建造物群保存地区	史跡 重要文化財	重要文化的景観 重要伝統的建造物群 保存地区 天然記念物
歴史的展開					
古代・中世	砂金山時代				
戦国期	銀山時代				
近世	金銀山時代	鉱山関連遺跡 2上相川遺跡 3間歩・露頭掘り群(一部国史跡) 4宗太夫間歩 5南沢疎水道 6佐渡奉行所跡 7鐘楼 8下戸番所跡 社寺・信仰 9大久保長安逆修塔・河村彦左衛門供養塔 10鎮目市左衛門墓 11上寺町 12大安寺 13瑞仙寺 14法輪寺 15大山祇神社(下山之神町) 16春日神社 17相川金銀山に関連する神社群 18キリシタン塚・処刑場跡 古道 19西五十里道 20相川の坂・石段	重要文化的景観 1相川金銀山 重要伝統的建造物群 保存地区 21相川下町の町並 22大工町から京町の町並 23寺町の町並	鉱山関連遺跡 1石切場群 社寺・信仰 2木崎神社 3金北山神社群 古道 4相川往還(一部重要文化的景観) 5赤泊道 建造物 6国分寺瑠璃堂 7蓮華峰寺弘法堂 8小比叡神社本殿・鳥居 9妙宣寺五重塔 10根本寺 11長谷寺	重要文化的景観 12小木の港町・内の澗 13海岸段丘の水田景観 14姫津漁村 15八幡砂丘の畑地帯 16佐渡の能舞台群 重要伝統的建造物群保存地区 17宿根木 天然記念物 18御林(新潟大学演習林)
近代	近代鉱山時代	鉱山関連遺跡 24御料局佐渡支庁跡 25大立地区 26高任地区 27間ノ山地区 28北沢地区 29大間地区 社寺・信仰 30大乘寺	都市・集落 31相川の近代建築	建造物 19両津カトリック教会	重要文化的景観 20二見の町並

B) 関連する資産

地区	相川金銀山及び島内に分布する資産
民俗芸能 (f)	民俗芸能(f) 3佐渡の人形芝居 4佐渡鷺流狂言 5善知鳥神社祭礼行事 6大山祇神社のやわらぎ 7鬼太鼓 8佐渡の民謡 9鉱山祭り
民俗技術 (g)	民俗技術(g) 1佐渡海府の紡織用具 2南佐渡の漁撈用具 3北佐渡の漁撈用具 4船大工用具及び磯舟 5佐渡のタライ舟製作技術 6佐渡の蝸型鑄金技術 7佐渡の無名異焼
記録など (h)	6上相川絵図 7佐渡奉行所関連絵図・鉱山絵巻・鉱山絵図 8川上家文書 9舟崎文庫史料 10味方但馬家資料 11佐渡奉行所跡出土品 一括 12相川金山鉱山 13佐渡鉱山関係施設等設計図 一括 14石工民具